

菅家三雄氏に当選証書

任期満了に伴う只見町長選挙は、現職の目黒吉久氏（64）＝2期＝が9月に今期限りでの退任を表明した中行われました。

11月15日の立候補受付では、元只見町副町長などを経験された菅家三雄（70）氏のほかに立候補の届け出はなく、菅家氏が無投票で初当選を果たしました。只見町長選挙で無投票になるのは平成16年以来的の12年ぶりのことです。

初当選を果たした菅家氏への当選証書付与式は11月21日、町役場で行われ、町選挙管理委員会の横山英彦委員



▲横山委員長から当選証書を受ける菅家氏(右)



▲初当選を果たした菅家三雄氏

長は「町のさまざまな課題克服のためにご活躍ください」と挨拶され、菅家氏に当選証書が手渡されました。

任期は平成28年12月16日から平成32年12月15日までの4年で、初登庁は12月16日の午前8時30分の予定です。

【菅家氏の略歴】

只見町生まれで只見高校卒。昭和47年から町職員として勤務され、平成13年から総務課長、平成17年から町助役、平成19年から副町長を歴任されました。

只見町駅伝チーム総合42位

11月20日、「第28回ふくしま駅伝競走大会」が開催され、白河市のしらかわカタルルススポーツパーク（白河市総合運動公園）陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間、95・1キロで繰り広げられました。

今年の只見町代表チームは、中学生や高校生が中心のフレッシュなメンバー構成で、昨年順位より上位を目標に大会に臨みました。



▲(写真/ゴール県庁前)大会に参加した只見町駅伝チームの皆さん

結果は総合42位、町の部22位の5時間53分27秒で、残念ながら目標にしていた昨年順位（昨年・総合41位、町の部21位）より上位を達成することができませんでしたが、選手全員が町の代表選手として力走を披露してくれました。

9月から練習に励んだ選手の皆さん、そして選手をサポートして頂いたチームやご家族の皆さん本当にお疲れさまでした。

今年の経験を糧に、更に強くなつた来年の只見町代表チームに期待です。



▲力走を見せる6区の梁取水咲選手(左前)

トレーラーハウスを活用した 創業・起業支援説明会を開催

健康スポーツによる交流環境整備と創業・就業機会に資する賑わい創出事業として、創業・起業チャレンジ応援プログラムの講演会と事業説明会が11月27日、季の郷湯ら里で行われ、事業に関心を持った約20名の方が参加しました。

これは、国の地方創生交付金事業により亀岡農村公園エリアにサンドバレー競技施設とトレーラーハウスを設置して、スポーツによる新たな起業や交流の場を創出するというものです。

講演会ではトレーラーハウスを展開する(株)カンバーランド・ジャパン代表の原田英世氏による講話と、町担当者からの事業説明が行われ、来場者は熱心に耳を傾けていました。



▲当日は、湯ら里駐車場においてトレーラーハウスの内覧会が行われ、飲食や物販としての利用や可動式であるなどの説明が行われました

只見町産シャクヤク 漢方薬として医療に活用

漢方薬の原料となるシャクヤクの生産団体「クラウドウ只見」が11月3日、新屋敷の畑でシャクヤクの根の収穫作業を行いました。

クラウドウ只見は、薬草栽培に関心を持った町民などで組織され、平成24年に新屋敷の休耕地でシャクヤクの試験栽培を開始しました。昨年初めて2・9トンを取穫し、漢方薬メーカーで調べた結果、漢方薬の原料として十分な品質だったことが分かり、収穫2回目を迎えたこの日、県立医大会津医療センターの三瀧忠道教授は「原料の地産地消を目指す、町の取組みに注目している」と話し、今年収穫したシャクヤクは漢方薬メーカーを通して、同センターで全量引き取る予定になっています。



▲(写真/11月3日の収穫)漢方薬原料の大半は中国からの輸入の為、安全性の高い国内での安定供給が求められている

三遊亭鳳楽師匠 小川サロンと湯ら里で寄席開催

今年で来町11年目を迎えた、三遊亭鳳楽師匠の寄席が、小川集会所と季の郷湯ら里で行われました。

11月4日、小川サロンの寄席では集落の方々約50名が参加し、大晦日の夫婦の情景を描いた「尻餅」という落語が披露されました。会場は終始笑いが飛び交い、寄席の最後には、集落の方々から感謝の言葉とプレゼントが鳳楽師匠に渡されました。鳳楽師匠は「皆さんに笑いと健康を届けられたと思います。」と話し、夜には地域の方々との交流会が行われました。

また5日に行われた第11回湯ら里寄席では、鳳楽師匠の卓越した話芸で来場者約130名を魅了し、笑いで只見町に貢献されていました。



▲(写真/5日の湯ら里寄席)11年間只見との交流を続け「地域の方々との交流で逆に癒されています」と話す鳳楽師匠

只見町消防団が訓練指導 只見高校「防火・防災避難訓練」

11月4日、只見高校で本年度2回目となる「防火・防災避難訓練」が行われ、只見町消防団約10名が訓練の指導にあたりました。

避難訓練後、グラウンドで行われた放水訓練では、消防団指導の下、各学年の生徒代表が消防ポンプ車と消火栓からの放水を体験しました。生徒達は消防団から、放水の伝令やホースの筒先の持ち方などを教わり、ホースの水圧に驚いていました。

その後体育館で行われた目黒邦友消防団長の講話では、「消防団の活動を知ってもらい、是非入団して下さい」と消防団の紹介や避難訓練の講習を話されました。生徒達にとって消防団の活動にふれる良い機会となりました。



▲消防団員から放水指導を受ける生徒

森林の分校ふざわの未来を考える

地域住民と活性化ワークショップ

「森林の分校ふざわ」のこれからの持続発展的な活用についてワークショップが11月23日に森林の分校ふざわで開かれ、布沢住民や関係者など22名が参加しました。

最初に現在施設を管理している森林の里応援団の齋藤政信支配人の発表が行われ、運営に関する内容などが説明されました。その後ワークショップが行われ、地域住民や町関係者など各々の視点で施設の魅力や課題、解決策など意見を述べました。結果、課題は布沢地区の人材不足や若い世代への継承などが挙げられ、地域と行政が課題を共有し、次年度以降の持続発展した管理運営に活かします。



▲町のシンボリック存在の「森林の分校ふざわ」の存続の為に、参加者全員で前向きな話し合いがされました

元気な歌声に迫力の演奏

第54回只見町小中学校音楽祭

11月9日、只見中学校体育館で「第54回只見町小中学校音楽祭」が行われ、保護者や地域の方々など約1000名が来場しました。

音楽祭では、各小学校の児童3〜4年（只見小は2〜4年）生が合唱と合奏を披露し、只見中学校は、のぞみ学級による和楽器奏や特設合唱部による合唱、全校生徒による合唱が披露されました。元気に楽しく歌う小学生、迫力ある演奏で楽器を奏でる合奏、そして清らかで美しい歌声が響き渡った中学生の合唱、いずれも完成度の高い合唱と合奏の連続に、来場者から「子ども達の発表に感動しました」という言葉とともに、大きな拍手が送られました。



▲歌、手拍子、ピアノが見事に調和した朝日小学校の合唱「RPG」

平成28年度秋季全国火災予防運動

秋の防火パレードを実施

秋季全国火災予防運動が11月9日〜15日まで実施され、それに伴い9日に、只見町消防団や広域消防署只見出張所などによる「秋の防火パレード」が行われました。

防火パレードでは、消防車両による広報活動が行われ、明和振興センターから町内各地を回りました。途中明和保育所を訪問し、子ども達に防火についての講話と風船をプレゼントしました。火災が発生しやすい時季となりましたので、火災予防のご協力をお願いします。

「消防署からのお知らせ」
住宅火災から命を守るため「住宅用火災報知器」を設置しましょう。



▲明和保育所で防火をお願いする目黒消防団長

今年はお米とブルーベリー

只見町と柏市で学校給食食材を交換

只見町と千葉県柏市の主要農産物の交換食材交流事業は、風評被害の払拭や両市町の食育の推進を目的に行われており今年で5回目となりました。

今年度は「只見産コシヒカリ60kg」と「柏ブルーベリー9kg」を交換し、只見町では11月22日、町内の小・中学校の学校給食で、柏ブルーベリーを「ジャム」にしていたいただきました。また柏市では、柏市立柏第八小学校の学校給食で、只見産コシヒカリが提供されました。

なお、交換食材は、放射性物質検査で安全性が確認されたものを使用しています。



▲(写真/只見小学校) 柏市のブルーベリージャムをみんなで美味しくいただきました



只見線の活用と沿線活性化を探る
只見線活性化シンポジウム

11月6日、只見線の活用方法と沿線活性化を考える「只見線活性化シンポジウム」(だんだんどくも只見線沿線元気会議主催)が、新潟県魚沼市地域振興センターで開催され、只見町や魚沼市などから約120名が参加しました。

シンポジウムでは、魚沼市の只見線なんとか会の目黒公司さんによる「只見線が担ってきた役割と今後の展望」について講演が行われ、只見線の経過や現状など話されました。

その後「ふるさと列車只見線く活躍の場をみんなで創ろう」をテーマにパネルディスカッションが行われ、只見町から民宿只見荘の目黒ゆかりさんがパネラーとして参加し、只見線の復旧や沿線活性化に向け意見交換が行われました。



▲パネルディスカッションは魚沼市観光協会の三友泰彦会長がコーディネーターを務め、只見町や魚沼市から6名がパネラーとして参加し行われました

只見振興センター新築事業
上棟式と餅まきで安全祈願

現在新築工事を行っている只見振興センターの基本構造が完成し棟木を上げる時に行われる「上棟式」が11月10日、現地で行われ、関係者など約15名が参加しました。

上棟式では、棟梁による祝詞奏上や四方祓いの儀などが行われ、目黒町長が「立派な只見振興センターが安全に完成することを願います」と挨拶をしました。

その後只見小学生や地域住民など約150名が参列した会場に、紅白餅や五円玉がまかれました。

只見振興センター建設工事の安全を、関係者と参列者が共に祈願した一日でした。



▲多くの地域住民が参列した餅まき

元パラリンピック日本代表秋元先生
明和小学校で「心の授業」を開催

11月11日、ただみコミュニケーションクラブ主催の「アスリート夢先生く心の授業」が明和小学校で行われ、小学生や地域の方々など約90名が参加しました。今回は、ボッチャ競技(ヨーロッパで考案された球技)でロンドンパラリンピックに出場され7位入賞を果たした元日本代表選手「秋元妙美」さんを講師に迎え、講演や競技体験を行いました。

講演では障がいにより苦労したこと、大学時代にボッチャ競技と出会い努力して五輪出場の夢が叶ったことなど秋元さんの貴重な体験談が話され、「夢と現実の架け橋は努力」「人と比べるのではなく自分で考え進むこと」と子ども達に大切な言葉を贈りました。



▲ボッチャ競技で交流をする秋元先生と明和小学校子ども達

関係機関連携でいじめ防止対策
「いじめ問題対策連絡協議会」開催

いじめ防止対策推進法が施行されたことに伴い、教育委員会では「只見町いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、関係機関の連携強化と連絡調整を目的に第1回の会議が11月15日、只見振興センターで行われました。

会議では町が定めた「只見町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止の考え方や重大事態への対応などの説明があった後、町内の小・中学校から定期的にアンケート調査を行い、実態把握に努めることなどの取組み事例の報告がありました。

教育委員会では今後も定期的に会議を開き、いじめ防止対策の強化に努めていきます。



▲委員11名が出席した会議では活発な意見交換が行われました